



2023年11月27日

各位

会社名 MITホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 増田典久
(コード：4016、東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役経営推進センター長 三方英治
(TEL. 043-239-7252)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年11月27日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年1月13日の2022年11月期決算発表時に公表いたしました2023年11月期(2022年12月1日～2023年11月30日)の業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年12月1日～2023年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,850	126	115	55	26.08
今回修正予想(B)	4,775	77	84	42	21.36
増減額(B-A)	△74	△49	△30	△12	—
増減率(%)	△1.5	△38.9	△26.6	△23.1	—
(ご参考)前期実績 (2022年11月期)	4,357	120	120	45	22.35

2. 修正の理由

システムインテグレーションサービスにおいては、首都圏を中心に顧客からの受注が堅調に推移し、また新規顧客獲得による案件拡大も達成したことにより、売上高、利益ともに当初計画を上回る見込みであります。

一方、DXソリューションサービスにおいては、図面DXソリューションの第4四半期(9月～11月)DynaCADキャンペーン販売実績が、建築業界の景気動向悪化を受けて予想を下回る見込みとなったこと、デジタルマーケティングのWisebook案件において受注は堅調に推移したものの、10月中旬以降に小規模案件の導入延伸や、大型案件の機能拡大による仕様取り纏め遅延に伴い納品が翌期にずれ込んだことなどにより、売上高は当初計画を下回る見込みとなり、利益率の高い図面DX、デジタルマーケティングの売上見込みの減少に伴い、DXソリューションサービスの利益が大幅に当初計画を下回る見込みとなりました。

このような状況の中、足元の物価高騰を受けて当年度に実施した賃上げや賞与などの従業員還元及び人的資本への投資を優先いたしました結果、前回発表の業績予想を下回る見込みとなりましたので、当期の業績予想を修正いたしました。

なお、サービス別売上高予想の修正については、以下のとおりであります。

(サービス別の売上高予想)

	前回発表 予想 (A)	今回修正 予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	(参考) 前期実績	増減額	増減率
売上高	百万円 4,850	百万円 4,775	百万円 △74	% △1.5	百万円 4,357	百万円 417	% 9.6
システムインテグ レーションサービス	4,081	4,135	53	1.3	3,869	265	6.9
DX ソリューション サービス	768	639	△128	△16.8	487	151	31.1

(1) システムインテグレーションサービス

首都圏を中心とする株式会社システムイオ、株式会社エーピーエスにおいては、公共分野（中央省庁向け運用案件）、金融分野（クレジット、独立法人向け開発）、エネルギー分野（ガス、電力向け開発）における既存顧客からの受注が堅調に推移したことに加え、GIGA スクール運用サポート業務のサービス領域拡大及び、新規顧客開拓による受注案件の拡大と、それに伴う要員の確保、受注単価アップや高利益率案件等へのシフトに注力したことにより、当初計画を上回る見込みとなりました。一方、西日本を中心とする株式会社 NetValue においては、エンジニアの確保が難航したことによるリソース不足が補えず一部機会損失が発生したため、当初計画を下回る見込みとなりました。

その結果、システムインテグレーションサービスの売上高は、前回発表予想から 54 百万円増加し、4,135 百万円（前期比 6.9%増）となる見込みであります。

(2) DX ソリューションサービス

図面 DX ソリューションにおいては、株式会社ネットウィンクスが手掛ける大規模修繕工事に伴う足場の仮設計画図などの CAD 製図サービスが牽引して売上高が拡大したものの、建築業界における民間工事件数の減少、建設資材の高騰、人手不足等が設備投資の抑制につながり、DynaCAD の 10 月～11 月販売キャンペーンにおいても購入延期や案件規模の縮小が重なり、当初計画を下回る見込みとなりました。

デジタルマーケティングにおいては、顧客向けカスタマイズ案件のプライベートサーバーの受注は堅調に推移したものの、小規模案件の延伸や一部大型案件の納品が翌期にずれ込んだことにより売上高は当初計画を下回る見込みとなりました。また、Wisebook の開発工数増加により製造原価が増加し、利益を押し下げる結果となりました。

その結果、DX ソリューションサービスの売上高は、主に図面 DX ソリューション、デジタルマーケティングの売上高が当初計画を下回ったことにより、前回発表予想から 129 百万円減少し、639 百万円（前期比 31.1%増）となる見込みであります。

(DX ソリューションサービス別売上高予想)

	前回発表 予想 (A)	今回修正 予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	(参考) 前期実績	増減額	増減率
図面 DX ソリ ューション	百万円 415	百万円 347	百万円 △67	% △16.3	百万円 217	百万円 129	% 59.6
デジタルマーケ ティング	220	173	△47	△21.3	165	7	4.5
クラウドソリ ューション	133	118	△14	△10.8	104	14	13.9

3. 配当予想について

配当につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、当初の計画どおり1株当たり8円を予定しております。当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付けており、今後も安定的な配当を継続することで、還元を実現してまいります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上